

令和3年度全国学力・学習状況調査 三郷市の分析（概要）

◆実施日	令和3年5月27日（木）
◆調査対象	原則として、市内の公立小・中学校の児童生徒のうち、小学校第6学年、中学校第3学年を対象とする。
◆調査目的	全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的とする。
◆調査事項	【児童生徒に対する調査】 1 教科に関する調査 小学校第6学年…国語、算数 中学校第3学年…国語、数学 2 質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する事項
◆教科に関する調査	1 平均正答率について 【小学校】 ○「国語」「算数」とともに、全国平均正答率を上回った。 【中学校】 ○「国語」「数学」とともに、全国平均正答率を下回った。 2 問題別の平均正答率について 【小学校】 ○「国語」では、「文中における主語と述語との関係性を捉える」、「目的や意図に応じて、理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」問題において、全国平均正答率を大きく上回った。 ○「算数」では、「商が1より小さくなる等分除（整数）÷（整数）の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる」、「帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる」問題において、全国平均正答率を大きく上回った。 【中学校】 ○「国語」では、「相手や場に応じて敬語を適切に使う」、「質問の意図を捉える」、「文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ」問題において、全国平均正答率を上回った。 ○「国語」では、「場面の展開、登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する」等の問題において、全国平均正答率を下回った。 ○「数学」では、「関数の意味を理解している」、「相対度数の必要性和意味を理解している」、「扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解している」「ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることができる」問題において、全国平均正答率を上回った。 ○「数学」では、「具体的な場面で、一元一次方程式をつくることができる」等の問題において、全国平均正答率を下回った。
◆質問紙調査	【小学校】 ○「家で計画を立てて勉強をしていますか」「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか」等の質問で、全国平均を大きく上回った。 【中学校】 ○「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」で2時間以上と回答する生徒の割合が全国平均を大きく上回った。 ○「1、2年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか」等の質問で、全国平均を大きく上回った。